

送信条件: 9600bps、パリティ無し、8bit、ストップビット1bit

コマンドの構成  
送信コマンド

# P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)を置きます  
 パラメーター: 設定するパラメーターなどを置きます。  
 コマンドとパラメーターの間には、「:」を置きます。  
 コマンド: 英文字3文字のコマンドを置きます。(小文字は不可)  
 ヘッダー: 先頭には必ず「#」を置きます。

リターン(正常時)

= P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)が入ります。  
 パラメーター: 調整・設定系コマンドでは実際に調整・設定された値が入ります。  
 実行系コマンドでは、「SC0」の文字が入ります。  
 コマンドとパラメーターの間には、「:」が入ります。  
 コマンド: 実行したコマンドが入ります。  
 ヘッダー: リターンの先頭には「=」が入ります。

リターン(エラー時) = E R 0 CR

設定コマンド  
値を指定するとき

# P I C : 1 CR

設定したい値を置きます。

実行コマンド

# P O F CR

リターン(正常時) = P O F : S C 0 CR

情報取得コマンド

# S P S CR

リターン(正常時) = S L T : 3 H 1 5 M CR

= S S V : B 0 2 - M 0 5 - L 0 1 CR

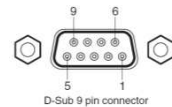
時間を表すときは、「3H15M」(3時間15分)の形式でリターンします。  
 DDP、MCU、LANバージョンの順番でリターンします。

<注意>

電源オフ時のコマンドには、以下の制限があります。  
 電源オフ時には、PON、SPS、SERコマンドのみを受け付けます。  
 電源オン・オフ時などに、コマンドに対するリターン以外の文字が出力されることがあります。

コネクタ端子配置図

ピン番号	
1	NC
2	送信データ
3	受信データ
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



D-Sub 9 pin connector

コネクタタイプ: オス

NC-何も接続しないでください

	コマンド	基本コマンド 実行または 設定値取得	パラメータ指定 [Prm]にはパラメータを設定。	設定できるパラメータ 調整値の範囲	備考
<b>実行コマンド</b>					
電源オン	PON	#PON[CR]			
電源オフ	POF	#POF[CR]			
<b>設定コマンド</b>					
映像モード	PIC	#PIC[CR]		0~4	
明るさ優先=0			#PIC:0[CR]		
標準=1			#PIC:1[CR]		
sRGB=2			#PIC:2[CR]		
ビビッド=3			#PIC:3[CR]		
DICOM SIM=4			#PIC:4[CR]		
NCE (カラーエンハンサ)	CES	#CES[CR]		0~1	
切り=0			#CES:0[CR]		
入り=1			#CES:1[CR]		
AVミュート	MUT	#MUT[CR]		0~1	
切り=0			#MUT:0[CR]		
入り=1			#MUT:1[CR]		
入力切替(ダイレクト)	INP	#INP[CR]		3~9	欠番あり。モデルにより選べる入力異なります。
コンピューター1=3			#INP:3[CR]		
HDMI 1=5			#INP:5[CR]		
HDMI 2 / MHL =6			#INP:6[CR]		
ビデオ=9			#INP:9[CR]		
<b>調整コマンド</b>					
音量	VVL	#VVL[CR]	#VVL:[Prm][CR]	0~20	
<b>情報取得コマンド</b>					
動作状態	SPS	#SPS[CR]			0:スタンバイ 1:投影準備中 5:通常オン 7:冷却中
信号入力	SIS	#SIS[CR]			0:コンピューター1、1:HDMI1、2:HDMI2、3:ビデオ
エラー	SER	#SER[CR]			0:正常動作 0以外:エラー (1:ランプ 4:Fan 8:温度 16:CW)
ランプ時間	SLT	#SLT[CR]			=SLT3H15M(3時間15分)の型でリターン。
本体使用時間	STT	#STT[CR]			ランプ時間と同じ形式でリターンされます。
ソフトウェアバージョン	SSV	#SSV[CR]			DDP.MCUの順でバージョンがリターンされます。